

$$(1) \quad D: \begin{cases} 0 \leq x \leq \pi, & 0 \leq y \leq \pi & \dots \textcircled{1} \\ 2 \sin(x+y) - 2 \cos(x+y) \geq \sqrt{2} & \dots \textcircled{2} \end{cases}$$

②を同値変形すると,

$$\begin{aligned} \textcircled{2} &\Leftrightarrow 2\sqrt{2} \sin(x+y - \frac{\pi}{4}) \geq \sqrt{2} \\ &\Leftrightarrow \sin(x+y - \frac{\pi}{4}) \geq \frac{1}{2}. \quad \dots \textcircled{2}' \end{aligned}$$

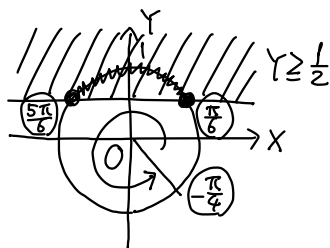
①のもとでは $-\frac{\pi}{4} \leq x+y - \frac{\pi}{4} \leq 2\pi - \frac{\pi}{4}$ だから,

この範囲の中で ②' を満たす $x+y - \frac{\pi}{4}$ を図から読みとると,

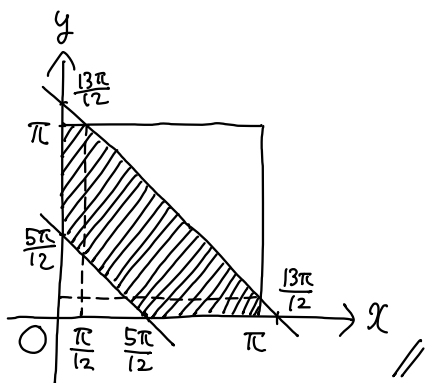
$$\frac{\pi}{6} \leq x+y - \frac{\pi}{4} \leq \frac{5\pi}{6}.$$

こゝより,

$$\frac{5\pi}{12} \leq x+y \leq \frac{13\pi}{12}. \quad \dots \textcircled{3}$$



①か③を明示することにより, D は右図 (境界線も含む).



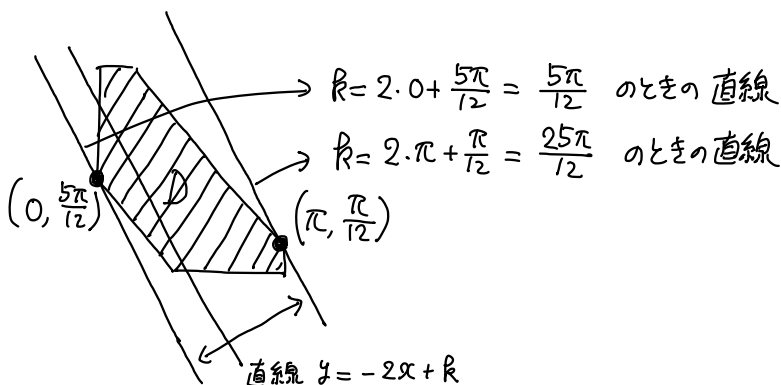
(2) 実数 k について, 次の同値関係が成り立つ.

「 k が $2x+y$ の変域に属している」

\Leftrightarrow 「 D 上の各点 (x, y) に対して $2x+y = k$ となる」

\Leftrightarrow 「 D 上の点 (x, y) で, 直線 $y = -2x + k$ 上にあるものが存在する」

\Leftrightarrow 「領域 D と直線 $y = -2x + k$ が 共有点をもつ」



図より「領域 D と直線 $y = -2x + k$ が 共有点をもつ」ような k の範囲は

$$\frac{5\pi}{12} \leq k \leq \frac{25\pi}{12}$$

だから, $2x+y$ の変域は $\frac{5\pi}{12} \leq 2x+y \leq \frac{25\pi}{12}$ であり,

$2x+y$ の最大値は $\frac{25\pi}{12}$, 最小値は $\frac{5\pi}{12}$ である。